



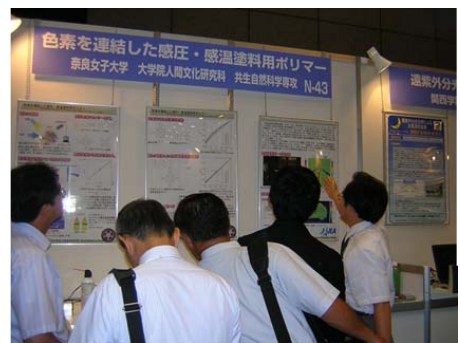
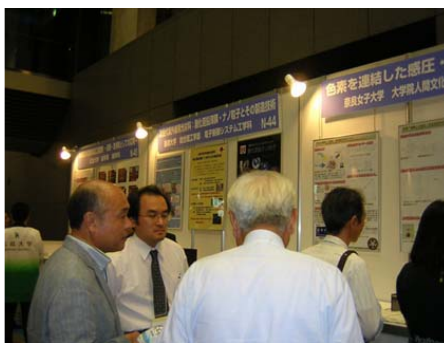
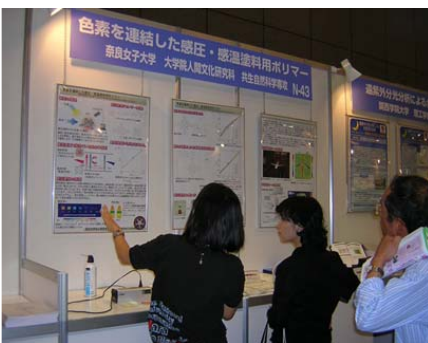
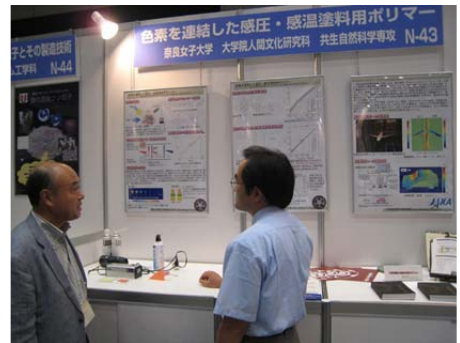
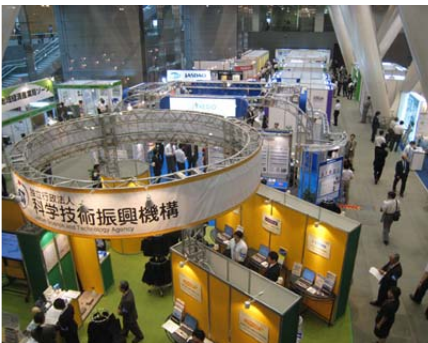
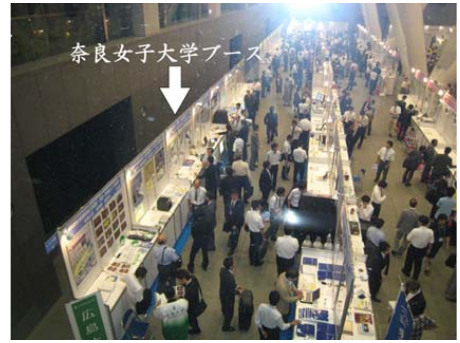
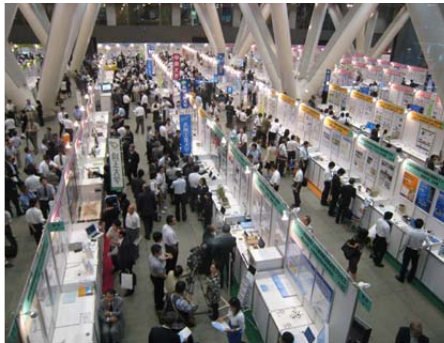
大学構内の紅葉初期写真(奈良女子大学メールマガジンより抜粋)

前回の推進レターの配信時は、太陽の陽射しが木々の葉にあたり緑葉の色がさらに濃く見えていましたが、今では、それらの葉は栄養分を持って土を覆いはじめました。日々の流れは早く、時間を追いかけているような毎日だと、自然の移り変わりを見るにつけ反省します。(藤)

1. イノベーションジャパン2007終了

東京・有楽町の東京国際フォーラムにて9月12日(水)~14日(金)の日程で日本最大規模の産学マッチングイベント「イノベーションジャパン2007-大学見本市-」が開催されました。本学は大学発の最先端技術シーズ紹介の「ナノテク・材料」分野において大学院人間文化研究科 共生自然科学専攻(矢野重信教授、小幡誠助教)より「色素を連結した感圧・感温塗料用ポリマー」の研究成果を展示しました。

開催初日(9月12日)に行なわれた開会セレモニー終了直後には、展示会を視察されていた松浪文部科学副大臣が本学ブースにお立ち寄りになりました。会期中(9月12日-14日の3日間)の本フォーラム来訪者は44,160人(主催者発表)ということで、本学ブースにもブース来訪者が途切れることなく、用意していた資料を奈良より追加配送しなければなりません。同じ展示規模のフォーラムは6月頃に京都宝ヶ池国際会議場で開催されていますが、やはり東京は圧倒的に来場者数が多く、大学の存在感をPRするために重要なフォーラムであると痛感した3日間でした。なお、本学の参加は今年度が初めてですが、来年も是非出たいです!



2. 第5回研究フォーラム終了

2003年度より大学の教員の研究内容を学外の方にご紹介する機会として、年に1回開催してきました産学官連携推進部門主催の「研究フォーラム」です。5回目となります今年度は「奈良に関する3研究の紹介」と「経済産業局（省）の助成事業総括」と称して恋都祭初日に実施いたしました。講演開始に先立って、清水副学長より、今回プレゼンターの山口智子助教が日刊工業新聞社主催（NEDO、（独）中小企業基盤整備機構共催）の第二回モノづくり大賞「特別賞」を受賞されたというホットニュースの公開があり、和やかなスタートとなりました。講演は、本学文学部 藤原素子教授、理学部 鈴木孝仁教授、生活環境学部 山口智子助教の他、近畿経済産業局 技術課 課長補佐前田浩文氏をお迎えして、主に地域資源活用プログラムに関する助成内容の説明をいただきました。例年どおり、休憩時間には名刺交換のためのコーヒブレイクタイムを長めに設け、学内研究者や産学官連携スタッフと談笑していただきました。コーヒブレイク時には「大和野菜（小しょうが）を使ったアイスクリーム」を奈良漬プロジェクトチームより全員分のご提供をいただきました。講演の合間に、清涼感があり後味スッキリの小しょうがアイスは好評でした。

この初秋の頃は近隣の大学や自治体でも同様の研究紹介フォーラムなどが企画されており、参加して下さる企業の方にとって、より魅力的な開催方法となるように見直す時期にきているように思えました。



展示パネルⅣ



展示パネルⅤ



展示パネルⅥ

3. 第5回全国高専テクノフォーラム

／全国異業種交流・新連携フォーラムin京都

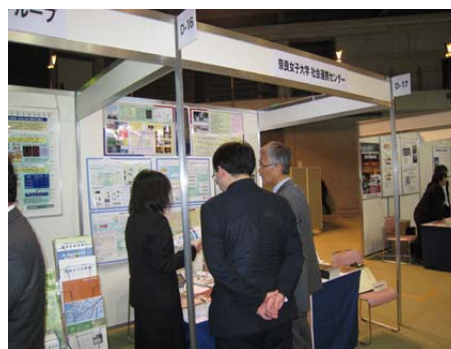
■第5回全国高専テクノフォーラム（8/9-10）

第5回全国高専テクノフォーラムが奈良工業高等専門学校を世話校に、本学を会場校として行われました。「産学官連携・地域連携におけるヒューマンネットワーク」をサブタイトルとし、高専の人的・物的資源及び卒業生のネットワークの有効活用により、如何にして産学官連携・地域連携を強化していくかの議論が活発に行われておりました。初日より全国の高等専門学校関係や大学関係、企業関係約300人が参加し、来賓として高市早苗内閣府特命担当大臣（当時）が駆けつけられました。本学からは、記念館での大学紹介パネル展示やフォーラム冊子への藤野特任准教授の寄稿、パネル討論への参加を行いました。



■ 全国異業種交流・新連携フォーラムin京都 (10/19)

初秋の京都宝ヶ池国際会議場で開催されました「2007全国異業種交流・新連携フォーラムin京都」に参加いたしました。雅楽の調べのオープニング、そして主催者挨拶（中小企業基盤整備機構など）、近畿経済産業局長、京都府知事と挨拶が続いたあとは、さまざまな業種の方が大学ブースにお立ち寄りいただきました（左下写真は京都府知事）。



4. 各種公募情報

(財)家計経済研究所

【公募時期】 ~平成19年11月30日（必着）

【問い合わせ】 <http://www.kakeiken.or.jp/>

【助成対象】 家計・家族・生活に関わる研究

【助成金額】 100万円・50万円

【助成対象】 40歳未満の専任教員(准教授以上は除く) 45歳未満の非常勤講師または大学院生

公募情報についてはリアルタイムに
下記WEBにて随時公開中です。

<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html>

(株)資生堂 資生堂 女性研究者 サイエンスグラント

【公募時期】 ~平成19年12月27日（必着）

【応募要件】 自然科学全般

【問い合わせ】 <http://www.shiseido.co.jp/>

【助成金額】 100万円（平成20年度）

【応募要件】 女性研究者

(財)たばこ総合研究センター H20年度研究助成

【公募時期】 ~平成19年12月17日

【問い合わせ】 <http://www.tasc.or.jp/>

【助成対象】 たばこ、喫煙または嗜好品等に関する広範な分野についての人文科学、社会科学等の研究

【助成金額】 50・75・100万円（1年間）

加藤建設(株) H20年度加藤建設学術奨励助成金

【公募時期】 ~平成20年1月31日

【問い合わせ】 <http://www.katoh-k.co.jp/>

【助成対象】 考古学および考古学に関連する人文科学の調査・研究

【助成金額】 50万円

【助成対象】 考古学関連学部・大学院に在籍する学生

(財)風戸研究奨励会 H19年度研究奨励賞公募

【学内締め切り】 平成19年12月14日

【問い合わせ】 <http://www.kazato.org/>

【助成対象】 電子顕微鏡並びに関連装置の研究・開発、及び電子顕微鏡並びに関連装置を用いる研究

【助成金額】 100万円/件

【助成対象】 満35歳以下(H19.12.31現在)

嗜好品文化研究会 H19年度研究奨励事業(研究助成)

【公募時期】 ~平成19年12月25日(必着)

【応募要件】 さまざまな時代、地域での嗜好品のありようをテーマとした文化研究(個人研究)

【問い合わせ】 <http://www.cdij.org/shikohin/>

【助成金額】 上限60万円 (17ヶ月)

【応募要件】 大学院に在籍する学生(H20.4.1現在、留学生を含む)休学中、または海外からの出願も可
指導教員の推薦書要

(財)近畿地方発明センター H20年度研究開発助成テーマ募集

【学内締め切り】 平成20年1月9日

【助成対象】 新素材の開発に関する基礎的並びに応用的な研究

【問い合わせ】 <http://www.khc.or.jp/>

【助成金額】 100~150万円 (平成20年度)

【応募要件】 40歳未満(H20.4.1現在)の研究者 大学院生は除く

(社)照明学会 H20年度研究・教育助成課題募集

【公募時期】 ~平成19年12月26日

【応募要件】 照明およびその関連分野 A:特定研究 B:一般研究 C:奨励研究

【問い合わせ】 <http://www.ieij.or.jp/>

【助成金額】 A:上限150万円/件 B:上限70万円/件 C:上限30万円/件 (それぞれ2年以内)

【応募要件】 大学院生または研究生は指導教員の推薦書要 C:30歳以下(H20.4.1現在)

5. 今後の予定

■ 『第6回元気企業ビジネスフェア NANTO』に出展します。

- 出展ゾーン：産学連携
- 日時：12月4日・5日 10時~17時(5日は16時)
- 会場：「マイドームおおさか」3階展示場

■ 『アグリビジネス創出フェア』に出展します。

- 出展ゾーン：産学連携
- 日時：12月12日 10時30分~17時
- 会場：OMM2階展示Cホール

■ 研究紹介集2007-2008

研究紹介集のデータ更新の時期になりました。

研究活動をされている先生方に個別にデータ更新(新規作成)依頼を行いますので、ご協力よろしくお願ひします。なお、データは完全入稿形式でなく、データ素材のご提供をいただく形で結構です。



6. お勧めグッズいろいろ



↑ 全学仕様の紙ファイル。



↑ 研究紹介集



↑ 大学メールマガジンで紹介した写真が満載のPHOTO MESSAGE (初版の残部わずかです)



↑ 手揚げ紙袋(学生からもお洒落と好評です)